

# 舗装工法等の見學

## 用 澤 傳 六

前略内地浦和國道改修工事出張所大石技師の好意に依り  
既設各種の舗装並に施工中の混凝土舗装を見學致し得る所  
不尠候慶南にて先年施工し尙本年も施工の豫定なる混凝土  
舗装も右見學の結果幾分工法其の他を變更するの必要を認  
め候東京市にては青山技師により乳劑舗装の工法其他委し  
く教示を受け今更ながら乳劑舗装に關する研究の不足を痛  
感致候同市井戸川出張所に行き施工中の工事をも見學致し  
施工後の維持修繕に關しては終始注意し補修を加へ一年後  
にて初めて完璧を期し得る事を教へられ理解する處有之候  
アスファルト乳劑は施工容易なるのみならず工費甚だ低廉  
にて地方道路の舗装は之に優るものなきかと存候アスファ  
ルト乳劑に關し更に東京市試験所山本所長の蘊蓄を傾注し

ての教示を賜はり何んとかして慶南附近にて乳劑製造工場  
の設立を見るを得ればと存候慶南にて砂利道を走る八人乗  
のバスの一臺一籽當りタイヤ費は七厘餘、一廾半の貨物車  
にて一錢三厘とは實績の示す所に候然るに藤井博士に依り  
て蒐められたる東京市營バス現在(全部舗装道)一臺一籽當  
りタイヤ費が三厘餘に相成居候(東京市バスは八人乘にあら  
ず大型なり)又五九パーセント舗装普及の時は一臺一籽當  
り約三錢を要せしものが現在にては僅に三厘餘となり居り如  
何に舗装が吾々日常生活に影響多きかを證明致候東京市の  
如く乳劑にて舗装する事に成功すれば地方舗装も至極容易  
にて普及するを得べく要は舗装に關する理解の問題かと存  
候岐阜縣にては岩崎課長及岐阜出張所を訪ひ砂利道の維持

修繕に關し教を受け尙郊外に道路を視察し維持修繕の行届

ざるは一面財政の爲めなりとは思はるしも他に考慮の餘地

けるを見學致「小粒の砂利」「雨中

なきにあらざるかと存せられ候

の修繕」「豫備砂利の準備」「常時の

慶尙南道に於ては並木二十七萬

小破修理」「修路員の訓練」等参考と

本植栽しあり(主としてポプラ)

なるべきもの多々有之候岩崎課長の

更に本年十五萬本植栽し道路の

道路維持に關する信念「我が子の如

緑化を計り居り候(改修延長一、

く愛せよ」と云ふは寔に至言と申す

七四九籽)別紙寫眞にて其實狀

べく候」斯くてこそ岐阜縣下の道路

を御推察相成度し。

はあれ丈け修繕が行届いて居ること

かと存候左候得共内地の道路を見て

物足らず感ぜし事は、「幅員の狭

き事」「急曲線を放任すること」「耳

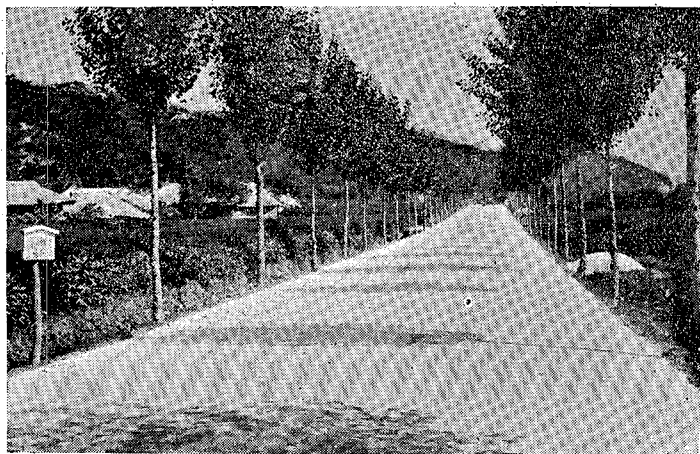
芝の整理をなさざること」「道路並

木を植栽せる箇所之乏しき事」等に

候加速度的に自動車の發達しつゝあ

る今日に於て之に副ふべく道路の改

良は急務中の急務と思はるゝに夫れが遅々として進み居ら



慶 尙 南 道 路

×			
	×		
		×	
			×